

# 主流メディアが、ラスベガス銃撃虐殺についてキリスト教徒を責める

ニューズウィークはこの破局的攻撃の責任を宗教だとし、他は男性だとする

【訳者注】これは多くを物語る。主流メディアが、“白人・クリスチャン・男性”を、この虐殺事件の責任者に仕立てようとするのは、あまりにも馬鹿げて、その意図が露骨である。そこには、白人に対して黒人、キリスト教に対して他の宗教、男性に対して女性を戦わせ、内乱に持ち込もう、ただしそうなる前に、民間から銃を没収しておこうとする**本当の**犯行者の意図が見えている（SOTN の分析通り）。こんなことを新聞に書くと、CIA などが命令するのだろうか。それとも阿吽の呼吸で、気を利かせて自分で書くのだろうか。いずれにしても、これは深層国家とメディアの共犯であり、幼稚な共犯である。SOTN の記事に、彼らは「だんだん自暴自棄になっていく」と言われていた通り、いよいよ本当の終末——大混乱の正念場——がやってきたと考えるべきだろう。

Jay Greenberg, [www.neon-nettle.com](http://www.neon-nettle.com)

October 5, 2017



世界が、ラスベガスの恐るべき事件の背景にある理由を理解しようと、苦しんでいるときに、主流メディアは、責めるべきはキリスト教の男たちだと決めつけた。

特にニューズウィークは、その責任を、もっと特定の白人クリスチャン男性だとした。

射撃犯人とされたスティーブン・パドックの家族が、彼は宗教に興味はないと証言した事実にもかかわらず、主流メディアは、なおもこの殺戮を、宗教の回りに作りあげようとしている。

警察と“リアル・ニュース”は、パドックは“単独犯”で、彼が 59 人を殺し、何百人を負傷させたのだが、その理由は明らかでないという考えを、いまだに追及している。

<http://www.neon-nettle.com/tags/police>

“単独ガンマン”物語を押し通そうとする決意にもかかわらず、パドックの行動を説明するどんな動機も、突き止められていない。<http://www.neon-nettle.com/news/2880-second-shooter-arrested-day-after-las-vegas-massacre-mainstream-media-blackout>

Infowars は言っている：——銃撃犯パドックの動機がいまだに分からないので、ニューズウィークのシニア記者 Alexander Nazaryan は、キリスト教に罪があるとして、「**極右は、ラスベガスの殺し屋がクリスチャン白人男性だったことを、認めようとしないうらう**」という見出しの記事を書いた。<https://www.infowars.com/newsweek-demonizes-christians-for-las-vegas-massacre/> ; <http://www.newsweek.com/far-right-wont-accept-las-vegas-killer-was-christian-white-male-677969>

パドックは、凝り固まったギャンブラーであり、家族が全く宗教的でないと言っており、どんなキリスト教信仰をも持っている証拠が全くないにもかかわらず、この記者はこれを書いている。

パドックの兄弟は、文字通り、このガンマンは「宗教的な繋がりを全くもたなかった」と言っている。<https://www.axios.com/suspects-brother-he-had-no-religious-or-political-affiliation-just-hung-out-2492022978.html>

ナザリアン記者は、これを自分の記事で認めて、パドックは「信仰ではなくでも、生まれはクリスチャンだった」とさえ言っている。

言い換えると、パドックは実践的クリスチャンではなく、ナザリアンはそれを知っている。しかし彼はウソをついて、いくつか誹謗の検索記事を見たことにしたのだ。

彼の悪口は、その怒りの対象である白人クリスチャン男性が、殺戮の被害者のかなりの割合を占めるという事実によって、ますますひどくなった。

この記事の別の見出しで、ナザリアンは、**Infowars** を含む右翼は、銃撃犯人が過激思想を吹き込まれていると“主張した”と言っている。

実際は、**Infowars** は、ロンバード保安官が記者会見で言ったことを、文字通りに伝えただけだった：——銃撃犯は過激思想を吹き込まれているかもしれず、調査班は、この過激思想の出所を見つけようとしている。<https://www.infowars.com/breaking-sheriff-says-las-vegas-shooter-could-have-been-radicalized/>

ナザリアンはまた、彼の“トランプ発狂シンドローム”を発揮して、トランプがこの攻撃について“偏執症”を煽っていると言っている——大統領は犯行者の動機について、文字通り何も言っていないにもかかわらず。

このニューズウィーク記者は、ユーチューブ批判者の **Mark Dice** のこの記事への批判に怒り始めた。彼の応答は、単に彼を“snowflake”（石頭の過激思想家）と呼ぶことだった。

これは昨日の CNN の見出しから継続している——「**どうしてアメリカは、白人の暴虐を黙って受け入れるのか**」

**関連記事**：「もう 1 人の射撃者がラスベガス虐殺の翌日に逮捕：主流メディアは沈黙」  
<http://www.neon-nettle.com/news/2880-second-shooter-arrested-day-after-las-vegas-massacre-mainstream-media-blackout>

「銃暴力の一つの否定できないファクター：男たち」と、タイム誌の見出しは叫んだ。そこには、ほとんど男性だけが目立つ、無数の他の分野が無視されている——戦死、警官の救出、消防士の救出、自殺、職場の死など。

インデペンデント紙はまた、この虐殺は「**男性であることが毒性となる**」ことを証明する、と主張した。これも恥ずべき言いがかりだ——射撃が続いている間、女性をかばったのは、“**毒性の男らしさ**”を発揮する男たちだったことを考えれば。